

支部だより

関東支部四十周年 総会を終えて

谷 福丸

(昭和三十三年卒)

平成二十一年五月二十四日、東京千代田区市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷において、創設四十周年記念同窓会を開催しました。当日は、朝はあいにくの雨でしたが、私たち役員並びに参加者の四十周年にかけ熱い気持ちを通じたのが、会が始まる頃には雨も上がり、五月晴れの青空に成りました。

ご承知の通り、本支部は、四十年前、「東京に田川高校の同窓会があるのに、田川東がないのはおかしいやないか」という先輩諸氏の呼びかけで、「田川東高校東京地区同窓会」として発足しました。その後昭和五十年代に本部要請により「東鷹同窓会関東支部」と名称を改めましたが、発足当初は何の財政基盤もなく、唯々、ふるさと田川と母校への熱い思いと、同窓という唯一の共通項の下に互助的人脈を広げ、今日に至りました。「よく四十年間も続けることができたな」と歴代役員並びに励ましご協力いただいた先輩後輩

諸氏に感謝すると共に、次の五十周年に向けて、新たな覚悟をしているところでは、

今次総会は、四十周年と言うことで様々な工夫をしました。まずは、遠路本部から安蘇会長、前田副会長、恩師として城戸厚先生（S三十一〜四十二、英語）のご臨席に感謝します。お三方とも母校の元教員で、多くの教え子も参加、懐かしい昔話に花を咲かせることができました。安蘇会長には地元産焼酎を奮発していただき、全員試飲と一部抽選会の賞品にしました。今回企画の目玉は「田川物産展」です。山崎副会長（S三十四年卒）、永野幹事（S三十六年卒）に産品選び、仕入れ交渉、当日販売とご苦勞を掛けました。主な産品は、黒ダイア、田川饅頭、袖胡椒、んにく球、英彦山がらがら、天狗面、筑豊ラーメン（山小屋）などです。当初、仕入れ過ぎを心配し、残品は役員で買おうと言うことにしていましたが、永野君の売り声効果か？、見事に完売、役員分が無くなる好評でした。また、恒例の抽選会の他に、前田本部副会長をはじめ、本部役員のご尽力で、ふるさと写真展、神幸祭スライドショー、田川地域観光戦略策定協議会発刊の「たがわを歩こ

う！」をはじめとする各市町村の広報誌配布等、昔を懐かしみ、ふるさとの匂いをたっぷりと楽しんでいただきました。フィナーレは恒例の炭坑節です。今年は雨矢本部副会長（S三十四年卒）のご尽力でほぼ全員にハッピーが行きわたり、心ゆくまで踊っていただきました。会場の時間の都合で、やゝ未練を残された方もおられたかと思いますが、最初から最後まで、笑い声と笑顔の絶えない賑やかな談笑で四十周年記念同窓会を終えることができ、支部役員は勿論ですが、本部及び関係各位に、会長として心よりお礼申し上げます。

さて、関東支部は次なる歩みを始めるわけですが、本部要請で静岡岡以北が正規エリアになり、会員数千五名です。この度の案内でも、遠隔で出席できないが年会費だけでもと、東北・北海道を含め百二十名を越える方々に納入いただき、また、案内が来たことが嬉しいと言うことで九十名を越える方々に別途協賛金をいただきました。しかし、課題は会員の高齢化です。S四十年代卒までは各学年三十名を越える会員が居ますが、S六十年代卒以降が急速に少なくなっています。若い方々にも中央に出て来ていただくことを願い、

前記協賛金等を若い世代のための同窓会基金として積み立てていきます。

次回は、平成二十三年六月頃の予定です。若い方々の参加を願いつつ、挨拶と致します。



関西支部総会報告

遠山 一美

(昭和二十八年卒)

第十八回関西支部総会・懇親会は、大正ロマン漂う歴史的建物遺産である大阪市中央公会堂（中之島倶楽部）にて、平成二十一年六月十四日に開催しました。